

'94アジア競技大会

広島開催記念号



会長就任ご挨拶

広島ユネスコ協会会長 伊東 亮 三

松原博臣会長任期途中突然のご退任で、図らずも後任会長を仰せつかることになりました。

松原会長には公私ともお忙しい中、平成二年度より協会の顔である会長として大きな功績を遺していただきました。感謝申しあげるとともに、今後とも顧問として引き続きご指導いただきますようお願いいたします。

いまま NGO (民間活動団体・非営利市民団体) としての協会の現状を見ます時、その地位や協会への期待は大変高いものになっっていることをあらためて実感している次第です。

昨年来、在広市民団体とともにすすめて参りました原爆ドームのユネスコ世界遺産登録の運動は政府・国会を動かし、所管

の文化庁の動きも来年度推薦の方向に向って歩みはじめたようであります。明年はまた、ユネスコの創立50周年、広島市の被爆50周年と、幾多の記念事業に協力を求められています。会員各位のより一層のご協力とご支援をいただきながら、その職責を果たしたいものと念願いたしております。

人々がアジアの人々に寄せた想い入れを今、広島大会の開催に際して想起する。
「我々アジアは共同の歴史を持たない。しかし、共同の未来に向き合っている。多くを語るを要しない。ただ、心願を同じくするだけだ」(陳雨露「共同と未来」)
「手を握り合う。そのことの中に乾坤宇宙がある」(石順義「期待」)
……来年、再来年……、広島アジア大会がどのように継承されるのであろうか。

日中ユネスコ交流

広島代表、十月訪中

日本ユネスコ協会連盟と中国教育国際交流協会との友好交流計画が開始して十年目、この計画に基づく北京ユネスコクラブと広島ユネスコ協会の姉妹協会締結から八年目の今年の訪中代表团と日程は次のとおりです。

△メンバー▽北川建次常任理事(広島大学教授)、松岡盛人理事(中国郵政局企画課長補佐)、国田繁理事(広島市立現代美術館普及係長)

△日程▽10月15日広島発、北京、瀋陽、長春、北京、25日成田

広島アジア大会を迎えて

副会長 加藤 朗 一

全県・市民の高まる関心と期待の中、いよいよアジア競技大会を迎えることになった。

広島アジア大会は早くより、「エイシアン・ハーモニー」というスローガンを大会の目標として掲げた。ハーモニーというのは高次の文化概念である。それは、構成メンバーがそれぞれの特色を発揮し、それがまた統一に包まれて、より高きものを創る姿をいうのであろう。

広島アジア大会においては、アジア各国、各民族の特色を理解し、交流を深めるといふ第一の命題に対して市内公民館による一館一館運動という適切な取り組みが展開されてきた。

第二の命題である連帯・統一のシンボルとしての伝統的五輪聖火に、懺悔の心に立つ「広島平和祈りの灯」が加えられることは、エイシアン・ハーモニーの面目を示すものとして特筆す

べきことである。広島アジア大会で灯された火は一過性であつてはならない。各公民館における取り組みは伝統となつて定着、発展し、エイシアン・ハーモニーの理想は「広島国際学会」の基本テーマとして攻究され、広島に学ぶアジア留学生の教養の原点にならないものであろうか。今後、秋の一日が「アジアの日」として制定されれば、どんなに嬉しいことであらう。

一九九〇年開催の北京アジア大会見学の時に接した北京アジア大会歌の詩句の中に、中国の

「良いことだ」が83% アジア大会市民アンケート実施



三館の協力をいただいて実施したものです。

調査対象は、各公民館等において、中学生以上～二〇歳未満、二〇～三〇歳代、四〇～五〇歳代、六〇歳代以上の年齢層毎に男女一人ずつの八人（全館で五百四人）で来館者からとしました。

有効アンケート数は四四六枚、有効回収率は八八％でした。調査結果は、まだ単純集計の域を出ていませんが、これまでに分かったことの概略は次のとおりです。

広島アジア競技大会の開催が

「楽しみ」、広島での開催は「良いことだ」と答えた人は、各八三％、アジアへ「大いに関心がある」は三一％でした。これらを性別・年齢別にみると、中高年男性において顕著に比率が高いたることが分かりました。

「関心を持っている国または地域」（自由記述複数回答）は、中国（三三％）、タイ（一一％）、インド（一〇％）、韓国（九％）、シンガポール（七％）等となっています。

アジア競技大会の意義（複数回答）としては、五四％が「立派な競技施設やホテル、道路などができる」、四八％が「広島のことをアジアの人々に知ってもらえる」、三二％が「広島が活性化する」と回答しています。アジアの人々に対する「ひろ



しま」からの発信（複数回答）

としては、七六％が「原爆のこゝろを願う気持ち」、四〇％が「私たちの日常生活・暮らしぶりなど」、三七％が「水と緑の美しい街ひろしま」と回答しています。

これらの結果は、調査対象の性格から、直ちに市民一般の意

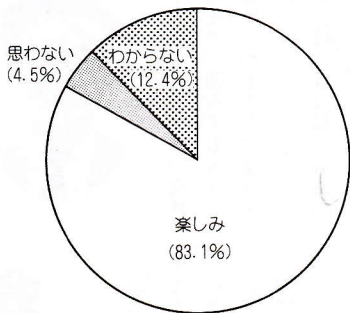
識と置き換えることは慎んだ方が良く、と考えておりますが、大会開催後に今回調査と同じ人を対象に実施する調査（十一月に予定）と合わせて分析すれば、市民の国際感覚の変化が読み取れるものと期待されます。

「国際家族年」写真展

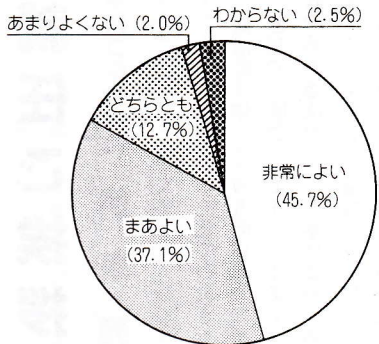
広島ユネスコ協会では、国連の「国際家族年」に関する企画として写真展を計画し、現在、作品を募集しています。

題材は外国人留学生とその家族を撮影したもので、サイズは自由。入賞作品は広島市の各公民館で発表、展示いたします。

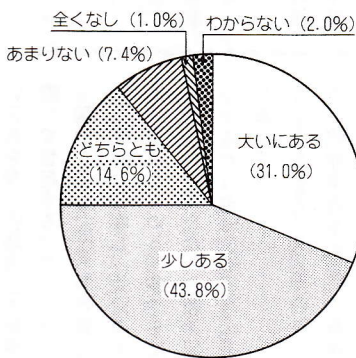
Q アジア大会は楽しみですか



Q 広島アジア大会はよいことか



Q アジアに関心があるか



平和讃歌を募集

ピース・ワールド・イン広島'95

ユネスコ設立50周年、広島市被爆50周年記念事業として来年8月2日広島市で開催されるピース・ワールド・イン広島'95の実行委員会が先ごろ発足した。

会長は平岡市長で構成団体は広島市、広島市教育委員会、中国新聞、NHK広島放送局等で、当協会にも要請があり、伊東会長が実行委員として参加することになった。

50年前被爆の廃墟の中から立ち上り復興した広島から平和の素晴らしさ、平和のうちに生きる喜びを世界の人々にアピールするため、設立50周年を迎えるユネスコと協同して世界の国々に呼びかけ、こども合唱団を広島に招待し、広島のスティージから再び世界の人々へ国々の歌を届けるコンサートを開催することになった。

実行委員会では、ピース・ワールド・イン広島'95のコンサートの中で発表する平和讃歌を日本国内、世界に募集することになり、広島ユネスコ協会では国内二百七十のユネスコ協会

にポスター、チラシを送って協力をお願いした。

応募規定、実施要項は次のとおり。

募集要項

△テーマ▽平和な未来の創造にふさわしく、21世紀にも歌い継がれるような内容のもの

△募集期間▽9月1日～1995年1月末

△募集内容▽未発表のオリジナル作品（歌詞と単旋律のメロデー）。歌詞の言語は自由。演奏時間は10分以内

△応募規定▽応募資格は不問。複数応募も可能。受賞作品は本イベントおよび広島市主催事業で自由に使用できるもの

△応募方法▽住所、氏名等の必要事項を明記して、楽譜、歌詞を全文記入のこと

△審査▽作曲家池辺晋一郎氏を含む著名音楽家がパリ・ユネスコ本部で審査

△表彰▽グランプリ（1点）
賞状・賞金百万円・記念品、

優秀賞（数点）
賞状・賞金十万円

△発表▽1995年3月下旬

△表彰式と演奏▽同年8月2日。演奏は広島交響楽団、世界各国の児童合唱団。芸術監督はエリザベト音楽大学長ホアキン・M・ベニテズ氏

広島中央合唱団

歓送コンサート

10月24日、オーストリア・ウィーンで開催される国連デー・コンサートに広島中央合唱団が平和都市広島からの使節として

原爆ドーム、来秋世界遺産推薦へ

昨年6月末、百万名の署名を目標にすすめてきた請願運動は一五〇万名を越すことになり、10月に政府、国会に陳情、請願することになった。

その結果は今年になって、衆・参両院で全会一致の採択となつて実を結び、政府も文部大臣に対して「終戦50年の記念事業として推薦の検討を」との指示を出すことになった。

こうした中で、文化庁（文部省の外局）は文化財保護法での

出演することになり、広島ユネスコ協会も後援団体として名を連ね、その公演の成功のために協力することになった。

公演は、国連本部の招待を受けて開催されるもので、ボスニア・ヘルツェゴビナの児童救援のためのチャリティ・コンサートとして位置づけられている。

なお、同合唱団の出発を前に10月18日（火）午後6時半から広島総合銀行本店（中区銀山町電停前）10階ホールで「歓送チャリティ・コンサート」が開かれる。出演は広島中央合唱団、エリザベト音楽大三井安子助教（ピアノ）。

いるという問題点があった。「国内法で保護されているもの」ということに対し、日本の国内法（文化財保護法）には原爆ドームに類するものを文化財として位置づける規定がなく、従つて文化財としての指定がなされているわけでもなかった。国が文化財保護法を適用して文化財と指定するためには、県なり市なりから上申していかなければならぬ。一連の手順を経てはじめて国指定の文化財（国指定史跡）ということになり、それからユネスコへの推薦ということになるわけで、文化庁は、これらのことを考慮に入れて、文化財保護法の適用措置を検討していくことになるであろう。

陶壁画「広島生変図」完成

さきごろ改築開館した平和記念資料館東館（旧平和記念館）正面玄関に平山郁夫画伯の広島生変図の陶壁が寄贈された。

広島ユネスコ協会では、製作発起人の原田東岷代表からの募金の依頼を受け、会員のみならず呼びかけ、ご協力をいただいたが、これに対し、先ごろ製作発起人から当協会に謝意の表明があった。

「国際交流サロン」好評裡に折り返し

当協会の国際理解のための「講座」として定着した「国際交流サロン」は、好評のうちに本年度の上半期を終えました。

◎5月21日「アジア競技大会にまつわるコミュニケーション」

大会組織委渉外部長藤井正一さん（本協会常任理事）

大会参加42国・地域との折衝を通じて言語、風習、宗教等文化の違いとそれらの人々が集る広島大会の意義。

◎6月25日「異文化理解」

広島大学助教倉地暁美さん
アメリカに赴任した日本人家族の英語の判らない児童の教室での一年間を観察しながら、始めには孤立しいじめら



（アジア大会）藤井正一氏

れながら、最後にクラスの人気者になるまでを例に「異文化理解とは」

◎7月23日「映画の中のアジア」
サロンシネマ社長 蔵本順子さん

「アジア映画の進歩は目覚ましい。日本では殆んど見られていない。どうかアジアの映画を観てください」

◎9月17日「日本文明批評」

広島大学大学院博士課程（国際私法）王冰さん（中国）
留学生生活を通して日本人の思考の理解の交流の難しさを具体的に説く。6年間の留学を終えて近く帰国の予定。

ペアセロベ・ ユネスココーナー

◎10月9日（日）終日

◎広島市中央公園

例年のように会場の一面に、民具、遊び道具づくりコーナーを設けて交流を深めます。

安佐町から80歳を超えるおはあさん二人にご足労を煩わし、わら草履づくりの実演と手

ほどきをしていただきます。その他、風づくり（日本風の会会員松本さん指導）、折り紙などを予定しています。

国際交流 サロン 10月

日時 22日（土）13時半

会場 広島市国際青年会館
研修室C（中区加古町アステールプラザ7F）

演題 「台湾の中の日本」
講師 広島大学大学院
鄭智恵さん（台湾）
（会費千円）

「メルヘン大賞」

募集

「子供に帰ろう。詩人になろう。ちよつと作家を夢見よう」

94年度総会開く

1994年度広島ユネスコ協会総会を5月21日（土）、広島市婦人教育会館で開催し、前年度の事業報告と決算報告が、ひ

伊東新会長が就任

きつづき本年度の事業計画と予算審議が討議、承認されました。また、任期半ばの前会長の辞

第12回アンデルセン・メルヘン大賞作品募集が、アンデルセン、タカキベーカーリー主催、当協会などの後援で展開されています。

しめきりは来年1月10日、詳しいことはタカキベーカーリー本社広報部082-240-9409まで。

高校生海外派遣

高校生夏休み海外研修（広島ユネスコ主催、多山報恩会協力）は、今年で四年目を迎えて実施されました。

訪問国はニュージーランド、オーストラリアで、8月22日から31日まで十日間の旅。広島大学附属高校、広島第一女子商校ら一行（団長／深崎敏之副会長）8人は、オークランド、シドニー、メルボルンなどを見学して見聞を広め、無事帰国しました。

河村元会長 出版記念会

広島ユネスコ協会元会長河村盛明氏が毎日新聞（関西、中国版）に長期連載された文学歴史紀行文「海道を往く」が、このほど刊行され、この出版を記念する会が9月9日、広島市八丁堀シャンテで開かれました。この会は、出版記念と昨夏より病床にある河村氏を激励するために開かれたもので、同氏が所属されていた団体、企業また歌人集団などから約70人が出席して、出版を賛え、同氏の再起を期待する声があふき語られています。

広島ユネスコ協会からは約20人が出席、加藤明一副会長がメッセージを述べられました。

なお、「海道を往く」（静山社刊、割引価格千二百円）購読希望の方は当協会事務局までお申し込みください。

任に伴い、新会長に伊東亮三副会長が選任され、伊東新会長は「国際サロン充実」「国際家族年企画の実施」「専門部活動の強化」などの重点目標を提起しつつ、会長就任の決意を表明されました。